

臨床栄養学 Clinical Nutrition

生命：K1-38222MS

衛生科目 2年／後期 1.5単位 選択科目

科目責任者 下川 健一(総合臨床薬学教育研究講座／医療製剤学)

■教育目的

健康維持に必要な栄養を科学的に理解するために、栄養素に関する基礎知識を修得する。さらに、後半では輸液療法を中心とした各種病態時の栄養管理のための基礎および臨床応用について学ぶ。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-②、SD-②】

■学習到達目標

チーム医療で期待されている薬剤師業務の一つである輸液製剤の調製に関しての知識を習得する。さらに輸液療法を必要とする病態に関する基本的な知識を身につけ、各病態で使用される輸液製剤の種類と特徴を習得する。(知識)

■準備学習（予習・復習）

予習：配布された講義プリントに目を通し、興味のある部分について詳細に調べておくこと。(30分以上)

復習：演習問題あるいは課題レポートをまとめておくこと。(30分以上)

■授業形態

講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	備考・SBOコード
1	基礎栄養	栄養の概念	D1(3)-①-1,2,3
2	//	三大栄養素の代謝	D1(3)-①-1,2,3
3	//	ビタミン、ミネラルの種類と生理機能および欠乏症	D1(3)-①-1,4
4	臨床栄養Ⅰ(輸液療法の基礎)	水と電解質の基礎知識	D1(3)-①-7,8 F(3)-③-6
5	//	酸塩基平衡の基礎知識	D1(3)-①-7,8 F(3)-③-6
6	//	経静脈栄養(末梢静脈栄養と高カロリー輸液)	D1(3)-①-7,8 F(3)-③-5,6
7	//	経管栄養と経腸栄養	D1(3)-①-7,8 F(3)-③-6
8	臨床栄養Ⅱ(輸液療法の臨床応用)	輸液療法における手技、輸液剤の種類と使い方	F(3)-③-4,5
9	//	輸液剤の種類と使い方、注射剤の配合変化	F(3)-③-5 F(2)-③-5
10	//	各種病態に対する輸液・栄養療法(1)	F(3)-③-6
11	//	各種病態に対する輸液・栄養療法(2)	F(3)-③-6
12	//	各種病態に対する輸液・栄養療法(3)	F(3)-③-6
13	//	各種病態に対する輸液・栄養療法(4)	F(3)-③-6
14	//	NSTにおける薬剤師の役割	F(3)-③-6 F(4)-①-1,2
15	総括	まとめ	

■授業分担者

下川 健一(No.1～7、15)、安 武夫(No.8～14)

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

課題提出(100%)で評価する。

■教科書

講義プリント

■参考書

『基礎栄養学 第4版』田地陽一 編(羊土社)

『酸塩基平衡、水・電解質が好きになる』今井裕一 著(羊土社)

『輸液療法の進め方ノート 改訂版』杉田 学 編(羊土社)